



とよおかし 議会だより



第 65 号

平成30年2月発行

も
く
じ

12月定例会の報告	2~3
一般質問に21名、3月定例会のお知らせ	4~15
意見書・請願・陳情	16
各委員会の抱負と課題	17~19
9月定例会の委員会意見と当局回答	20~21
議会トピックス	22
まちのSmile & Genki	23
編集後記 ほか	24

地域の方ともちつき大会（アートチャイルドケア豊岡こうのとり保育園）

編集／議会広報広聴特別委員会 発行／豊岡市議会

URL <http://www.city.toyooka.lg.jp>

〒668-8666
豊岡市中央町2-4

TEL 0796-23-1119
FAX 0796-24-8041

E-mail gikai@city.toyooka.lg.jp

一般会計補正予算案を修正可決

12月定例会

新たな高齢者福祉事業

3件の債務負担行為を削除

その他の条例制定・一部改正案、指定管理者の指定、補正予算案などは原案可決

12月1日から26日までの26日間、12月定例会を開催し、条例の制定・一部改正、指定管理者の指定、補正予算、人事案件など63件を審議しました。

26日の最終日には、各委員長が審査結果を報告した後、採決を行いました。一般会計補正予算（第7号）については、予算決算委員長報告による、新たな高齢者福祉事業3件の債務負担行為を削除する修正案を全会一致で可決。その他の議案などについては原案のとおり了承、可決、同意しました。また、福祉職場の職員増員、賃金の改善などに関する意見書の提出を求める陳情は、不採択としました。

議案などの主な内容

委員会等の付帯意見

● 株北前館の決算事業計画

平成28年10月1日から29年9月30日までの決算では、温泉の利用促進、満足度向上などに努めたが、レストランの経営改善の取組みが遅れたことなどから、純利益は28万5508円の赤字。

建設経済委員会の付帯意見

市が、経営コンサルタンの導入やリニューアル工事などの支援してきたものの、赤字体質が改善できていない。人事面で改革・改善に取り組まれているが、現実は大変厳しい。今後は地元住民の協力を得ながら、経営

の安定に向けて一層努力されたい。

市立施設の指定管理者の指定

北前館、城崎文芸館、コウノトリ文化館、道の駅神鍋高原、出石永楽館、但東地域活性化センターなど30の市の施設について、公募または非公募で選定された団体などを議会の議決により指定管理者として指定するもの。

文教民生委員会の付帯意見

多くの指定管理施設で、老朽化が進んでおり、設備投資を行っても経済効

果が出ないものもある。公共施設再編計画を踏まえ、指定管理のあり方について十分に精査を行うとともに、適正な評価指標に基づいた制度運用を図らねばならない。

公立豊岡病院組合規約の変更

日高医療センターを地域包括ケアシステムの拠点とするため、豊岡病院組合が処理する事務の中に介護保険法に基づく在宅医療などを加えるもの。

公共施設整備基金条例制定

公共施設の老朽化に備え、すでに市が策定した公共施設再編計画などに

基づく施設整備、取り壊し、複合化などの資金に充てるため基金を設置するもの。
毎年度の決算剰余金は、その2分の1以上の額を基金に積み立てることが義務付けられている。これまでには主に財政調整基金に積み立てていたが、今後は公共施設整備基金も積み立て先の一つとなる。

人権擁護委員の推せん

市が人権擁護委員の候補者を法務省へ推せんするにあたり、議会の意見を求めるもの。今回は、再任および新任合計4人が候補者で、任期は平成30年4月1日から3年間

総務委員会の付帯意見

次世代に負担を先送りしないよう、目標額を定めて積み立てを行うとともに、基金積み立ての原資は毎年度の剰余金であり、市の抱えるさまざまな政策課題の実現や市民の皆さまの暮らしを守るため、年間を見通した予算執行に努められたい。

災害時要援護者名簿に関する条例制定

災害時などの円滑かつ迅速な避難支援などが実施できるよう、災害時要援護者を災害から保護するために特に必要のある

旬な解説

※ 債務負担行為とは

自治体の会計は年度内に完結することが原則。年度をまたがって契約を締結したり事業などを行うときは、議会の議決により、予算の一部である債務負担行為を事前に設定する必要がある。債務負担行為を設定していても実際に現金支出が必要となったときは、その年度の歳出予算に計上して執行する。



本会議において一般会計補正予算案を全員起立により修正可決

一般会計補正予算 (第7号)の審議状況

予算決算委員会で慎重に審査をする中で、新たな高齢者福祉事業3件の債務負担行為を削除する修正案が提出され、全会一致で可決しました。

修正案の提案理由

区長連合会などから敬老会補助金の継続の要望がある中で、その廃止が

でに実施されている事業などであり、地域事情を勘案したとは言い難い。

予算決算委員会の付帯意見

敬老会は高齢者の地域貢献に感謝し、ご長寿をお祝いするもの。地域のつながりが希薄化する中で有意義な行事であり、継続することが一番である。

地域おこし協力隊の減額補正が目立つ。公募に当たっては、魅力ある働きがいのある内容の募集に心がけられたい。

区長連合会などから敬老会補助金の継続の要望がある中で、その廃止が新しい高齢者福祉事業のお知らせ文書が配布された。敬老会の評価や関係者が了承したという判断も一方的である。新事業はす

一般会計補正予算(第7号)の主な内容

新たな高齢者福祉事業(債務負担行為)

敬老会補助事業の効果は一時的で持続性に課題があることから、29年度限りで補助金は廃止する。30年度から、高齢者安心・見守り事業、玄さん元気教室補助事業、ふれあいいきいきサロン補助事業を実施する前提のもとに、敬老会補助金の動向が来年度の各区の予算編成に影響を与えることから、新たに実施する事業を早期に周知するため総額1,535万円の債務負担行為を設定するもの。

デジタル防災行政無線整備事業(債務負担行為)

アナログ方式の防災行政無線の使用期限は平成34年11月末。デジタル方式として再整備するため、今年度から4年間で整備事業者の選定、親局・中継局などの整備、戸別受信機の配布、旧システムの撤去を行うため、総額13億2千万円の債務負担行為を設定するもの。

公共施設整備基金への積み立て

財政調整基金から70億円を取り崩し、新たに設置した公共施設整備基金へ同額を積み立てる。取り崩し後の財政調整基金の現在高は約41億5千万円。

就学援助システム導入事業(債務負担行為)

経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費などを支給する就学援助の認定に際し、認定に必要な情報を一元管理することで正確かつ効率的な事務が行えるようシステムを整備するため、総額600万円の債務負担行為を設定するもの。システムの完成は平成30年10月。

意見が分かれた議案の賛否一覧表

本会議での賛否を公開します。掲載のない議案は全会一致で可決されました。

会派名	新風とよおか										とよおか市民クラブ			ひかり		日本共産党・あおぞら豊岡市会議員団				豊岡市議会 公明党		豊岡維新の会		審議結果
	浅田徹	上田倫久	岡本昭治	関貫久仁郎	木谷敏勝	清水寛	田中藤一郎	土生田仁志	井垣文博	伊藤仁	井上正治	嶋崎宏之	椿野仁司	福田嗣久	松井正志	青山憲司	足田仁司	西田真	上田伴子	奥村忠俊	村岡峰男	菅田竹彦	竹中理	
陳情第4号 福祉職場の職員の大幅増員と賃金の改善の実現にむけて、国に対して意見書の提出を求める陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	不採択

賛成は○、反対は×。棄権、除斥等は「一」。議長は採決に加わらないので「/」で表示しています。



12月定例会

一般質問(21人)

市議会では、市民の皆さんの身近な問題、市の予算や政策など、さまざまな課題について活発な議論を交わしています。

市議会の本会議がインターネットでご覧になれます！



インターネットにより、定例会のようすをライブ中継と録画中継で映像配信しています。ぜひご覧ください。

豊岡市議会インターネット中継

検索

村岡峰男(5ページ)

- 農政
- 台風18・21号被害と復旧
- 投票時間繰り上げ
- 敬老会補助金廃止
- 国保の県単位化

木谷敏勝(5ページ)

- 行政を効果的にすすめる方針
- 専門職大学

田中藤一郎(6ページ)

- 平成30年度予算編成方針
- 教育現場
- 地方創生

西田真(6ページ)

- 台風接近による市議会議員選挙、衆議院総選挙の投票時間繰り上げ
- 民生児童委員の負担軽減
- 公金運用
- 感染予防対策
- 球技場の照明
- ヘルプマーク導入

芦田竹彦(7ページ)

- 防災・減災対策

福田嗣久(7ページ)

- 水道事業の維持管理運用
- 市議会議員選挙を終えての感想
- 衆議院選・市議選における投票時間繰り上げ
- ひぼこホールの廃止
- 公共施設整備基金
- 敬老会補助金の廃止

奥村忠俊(8ページ)

- ひぼこホール
- 国交省公募型樹木等採取試行事業
- 豊岡ベレット
- 市役所内職場環境

土生田仁志(8ページ)

- 生活環境改善
- 降雪時の除雪対策

井上正治(9ページ)

- 農政
- 地方創生

岡本昭治(9ページ)

- 国の水田農業(米)に係わる政

足田仁司(10ページ)

- 策転換
- コウノトリ野生復帰への取組みの分析と評価
- 豊岡市全体の賃金水準
- 豊岡市の将来像
- 豊岡市民の人権意識
- 公的施設の維持・管理
- 遠隔地居住者の公平負担

井垣文博(10ページ)

- 基本構想のスタートにあたって
- 台風18号、21号の被害の状況とその復旧対策
- 空家対策

青山憲司(11ページ)

- 公共施設再編計画と長期財政見通し
- 敬老会補助金の廃止と高齢者福祉施策の拡充
- 五荘・奈佐地域の水害対策
- 地域未来投資促進事業

上田伴子(11ページ)

- 敬老会の補助金

松井正志(12ページ)

- 子育て支援
- 防災
- 地域未来投資促進法に基づく基本計画
- 公共施設再編計画の進め方
- 敬老会補助金の廃止に伴う高齢者福祉施策
- 投票終了時間の繰り上げ決定と選挙管理委員会の職務権限
- 全国学力学習状況調査分析結果をもとにした授業アイデア分析、アイデアをまとめたならいと今後の取組み
- 区長会要望に対する説明

清水寛(12ページ)

- 情報戦略
- 地域コミュニティ
- 図書館

浅田徹(13ページ)

- 減災・防災対策の推進(台風18号・21号関係)
- 消防対策の推進
- 学校教育の推進

上田倫久(13ページ)

- 伝統芸能の保存・継承
- 但馬定住自立圏共生ビジョン
- 福祉
- 防災

椿野仁司(14ページ)

- 豊岡市議会議員選挙
- 台風18号及び21号
- 円山川整備計画

石津一美(14ページ)

- 子宮頸がんの検診
- 幼児保育・教育現場における「エビベン」の取り扱い

竹中理(15ページ)

- 市長総括説明
- 持続可能な開発目標(SDGs)の取組み
- 第7期介護保険事業計画
- 市民要望

市政を問う



村岡 峰男 議員
(日本共産党・あおぞら
豊岡市会議員団)

敬老会補助金継続は 市民と議会の声！

問 敬老会補助金廃止を前提とする新たな事業が債務負担として予算提案され、区長等に議決前に文書で通知された。議会ルール違反ではないか

答 1月から会計年度が始まる地区があり、要請により知らせた。文書は、議会審議が前提であり、すでに公表されており、特に問題はない。この文書で議会は通ると読まれる人は議会ルールを知らない人だ。

問 敬老会は、市内各地で開催される市最大のイベントだ。大きな意味を持つ。再度検討の余地はないか

答 すでに方針は伝えている。要は戦略的であるかどうかの観点から見直すべきだ。

投票時間繰り上げで市民の投票権を奪った

問 台風の対策に職員の

配置や投票箱の移動に危険が伴うとして4時間も繰り上げたことで、前回市議選から約5%も投票率が下がった。また、市民への連絡から1時間も障すべき選挙の判断の見解は

答 23号台風を上回る危険性が予測されたため、市民の安全に配慮して、市長の要請で4時と決めた。市民への周知時間が取れず大きな反省点だ。

問 周知時間を考える

と5時、6時の判断はなかったのか

答 4時と



せっかく行ったのに閉まっていた！

問 8時しか検討していない。投票日前日に県選管に繰り上げ時間の問い合わせをしている。22日朝から早めの投票を促すことができたのではないかと法的に何時間繰り上げできるかを確認した。

答 豊岡インターの設置、豊岡病院前から但馬空港までの県道接続など積極的に整備を進めている。市のまちづくり方針に基づき国・県事業の推進に取り組んでいく。



木谷 敏勝 議員
(新風とよおか)

フレキシブルな頭で 提案を

問 国・県事業の実施に併せて考え方をまとめ地元と行政、議会が一丸となって実施主体に働きかけ、市の関連事業を先行実施することが必要と考えるが見解は

答 豊岡病院の改善を図ることが結果的に将来の行政負担を少なくすることになる。豊岡病院への積極的な基金の導入という考え方について見解は

問 医師確保が最重要課題と認識している。分賦金は繰り出し基準以上の額の支払いはできない。

答 専門職大学の設置時期、カリキュラムの内容、定員、履修数、授業料を公表し定員の確保に努め



2020年の開設を目指す専門職大学

なければならぬと考えるがどうか

答 2020年開設を目指すのが、遅くとも2021年度には開設したい。

問 専門職大学の場所をどこにするのか。まちづくりの中でここにあればという構想は

答 そこは学生との関係で見ると街中にあるのがいいという考えである。土地の価格、交通の便などを加味し、県に情報提供をしていきたい。

市政を問う

一般質問



田中 藤一郎 議員
(新風とよおか)

小さなことから

「コッコッ」と!

教育保育計画について

問 豊岡スタンダードカリキュラムの問題・見直しはできているのか

答 現時点で見直しは考えていない。必要に応じて改善、見直しを検討する。
問 今、幼稚園児の入園が減っているが、どう感じているか

答 保護者のニーズが変わってきている中で、幼

稚園の就園率が減っていると考える。

問 保護者との問題意識を早急に改善していただきたい

答 なぜ幼稚園ではなく、保育園なのか、しっかりと議論した上で検討したい。

地域産業活性化について

問 豊岡ブランドでの既存企業の高度化などへの

挑戦を促す環境整備についてはどうか

答 内発型産業育成の政策を中心とした支援をさらに充実させ、特に若い人たちが新たな事業に挑戦できる環境整備づくりに努めていきたい。

問 既存の企業をどう成長させるのか。豊岡には水産物など、新しい挑戦が厳しいと考える。既存の企業を活性化させる方

が、よりリ
スクも少な
く早く成果
が上がる
と考えるがど
うか

豊岡市就学前の教育・保育計画

「スタンダード・カリキュラム」



平成22年11月

豊岡市教育委員会

幼児教育が基本中の基本！常にカイゼンを

うな支援策
があるのか、
しっかりと
議論してい
きながら実
現したい。



西田 真 議員
(ひかり)

助け合いのこころし

「ヘルプマーク」の導入を



ご存知ですか？ヘルプマーク

問 ヘルプマークは東京都が作成。身体障害者手帳の所持者に限定せず、本人の申告でかなり広く交付され、近隣では大阪府や京都府などで導入している。兵庫県では導入していないため、動向を見ながら対応を検討する。

基金運用で収益増

問 28年度末で23基金の合計は約218億円。公金である基金を安全な運用の上、収益増とする方策はどうか。他市では1%以上の運用益を上げている所もあるが

答 今後については、確実かつ有利な方法で運用することを基本にし、利回りのよい有利な運用を目指す。長期財政見通しを考慮しながら、中期債権より利回りの良い長期債権、あるいは超長期債権の導入についても関係課と協議し、さらなる運用益の確保を図っていく。

ヘルプマークの導入

問 外見では分かりにくい障害があり、援助や配慮が必要な人のサインとなる、赤地に白いプラスとハートマークがデザインされた「ヘルプマーク」。

民生委員の負担軽減

問 民生委員は高齢者宅の訪問や住民の生活状況の把握等活動が多く、また高齢化もあり大変だと聞く。負担軽減のため協力委員も配置しているが、課題解決の計画はどうか

答 全体研修会でのグル

本市の導入検討はどうか

数多く導入しているが、

市政を問う



芦田 竹彦 議員
(豊岡市議会公明党)

社会基盤の整備と管理 地域の防災力強化

問 今年度計画の下陰の道路工事およびグリーンベルト設置工事状況は

答 道路補修工事は、経年劣化によりひび割れを起こした舗装を撤去して、新しく打ちかえる計画。グリーンベルト設置工事は、通学路において歩車道を明確化するため、外側線の外側にグリーンベルトを設置していく計画。いずれも年度内の完成を目指している。

問 避難勧告・避難指示を発令した場合の要援護者に対する周知と受け入れ体制はどうか

答 避難情報の周知は、防災行政無線、とよおか防災ネット、緊急速報メール、テレビのデータ放送、FMジャングルなどの方法で行っている。現在台帳登録者で、4666人の対象者全てを専門家で対応するというのは非常に難しい。初動の段

階では、できるだけ地域の皆さんに要援護者の介護等をお願いしたい。

女性防災の主体的な担い手

問 市の防災に関する会議への女性参加の現状と女性参加を増やす取組みについてはどうか

答 市の防災会議には、委員39名のうち、現在5



もっと女性が活躍する社会へ

名の女性委員に参画いただいている。防災課でお願いしている市民協働型評価マネジャーには、委員13名のうち、現在4名の女性委員に参画をいただいている。

今後とも、女性の参加人数、割合をできるだけ増やしていきたい。

水道料金について

問 水道料金のクレジツト払いができる取組みが必要かどうか

答 クレジツトの導入時期等については、現時点ではまだ定めていない。今後研究していきたい。



福田 嗣久 議員
(とよおか市民クラブ)

万機公論に決すべし

市議選投票時間の繰り上げ

問 台風災害の不安は理解するが、余りにも一方的に議会にも相談なしで決定した。市民の権利を制限することであり、より慎重に、より事前の周到な準備が必要であったと感じているがどうか

答 意思決定の判断の遅れは大きな失敗のもとになる。迷うならより安全な方に判断するのが災害対策、危機管理の基本と考え、職員、副市長と議論し判断した。議長等と相談しなかったのは、インサイダー情報の疑念を抱かれないよう配慮した。

ひぼこホール廃止案

問 9月定例会に唐突に浮上。17億円で建設されたホールが築23年経過で16億円もの大きな改修が必要なのか。廃止ありき

の感を受けるが、現況復帰で最低限の改修の方向はないか

答 老朽度調査の結果、電気、機械、舞台の各設備も更新時期で、屋根、外壁は劣化が進み部材の落下や剥離による人的被害の可能性も指摘され、早急に改修の有無を判断する必要があった。市の公共施設全体の統廃合が不可避の状況であり、財

敬老会補助金の廃止

問 補助金について効果がない、一時的で戦略的支出ではないという理由で補助を廃止。3つの福祉事業に置き換える案に各団体の皆さんは納得されているのか

答 意味はあるが、一日のためだけよりも継続的に使う方が有効と申しあげた。一定の理解はいただけたと考えている。



毎年楽しみにしていますよ。敬老会！

か
あるが、一日のためだけよりも継続的に使う方が有効と申しあげた。一定の理解はいただけたと考えている。

市政を問う

一般質問



奥村 忠俊 議員
(日本共産党・あおぞら
豊岡市議員団)

市民の声を聞こう！ 対話と共感はどっこい？

問 9月と10月にひぼこ廃止の説明会が開かれ、多くの市民が廃止に反対の表明をされた。市民の声をどう受け止めたか

答 11月21日にひぼこホールを愛する会から1万3300余の署名をいただいた。ひぼこに対する思いは十分伝わってきた。よく勉強されており、内容を合理的で可能なものであるか検討を約束した。1月下旬に市民会館の老朽度調査の中間報告が出てくる。ひぼこ

ホールも再度検証をお願いしている。それを踏まえ、た上で方向性を定める。

問 市長は「市民との対話と共感」を公約している。ひぼこホールには、なぜそれを実行しないのか。市民の声をじかに聴き説明するべきだがどうか

答 あることを前提にするかどうかが、建物・設備の改修が1億から2億円ならいいが10数億円は財源がない。

河川敷の雑木撤去

問 出石川は先の台風で数箇所決壊した。河川敷の雑木は一掃されたが、また大きくなっている。水の流れを止める働きが考えられ一掃できないか

答 国に公募伐採を要望しても進入路がない。応募者の確保も必要だ。要望は伝えるが、現状では困難だと考える。



土生田仁志 議員
(新風とよおか)

築こうあなたと 未来のふるさとを

市街地周辺地域の旧農業用水路の早期整備

問 昭和40年代中頃から急に宅地化が進んだことから、市街地周辺の住宅地では、未整備の水路がたぐさん見られる。水路清掃、雑草排除、害虫駆除等の活動もできていない。クリーン作戦時にも、この水路へ入って掃除することもできない

で、宅地化されているような施設の管理については、今後の検討課題と考え、他の関係部署と協議を行っていきたい。

答 地区からの要望があれば、現地調査や、区長をはじめ地元関係者と立会いを行った上で、検討していく。

除雪対応

問 平成29年2月9日の早朝から降った雪、子どもたちは歩道を歩けずに、車の通った後のわだちを通学した。市民の安心安全を守るを義務として、通学路の除雪における安全対策はどうか

問 住宅地が造られた時間差により、農業水路や私有地が混在している中での作業となり、簡単にはできないと思う。高低差の修復で雨水の滞留箇所をゼロにする施策についてはどうか

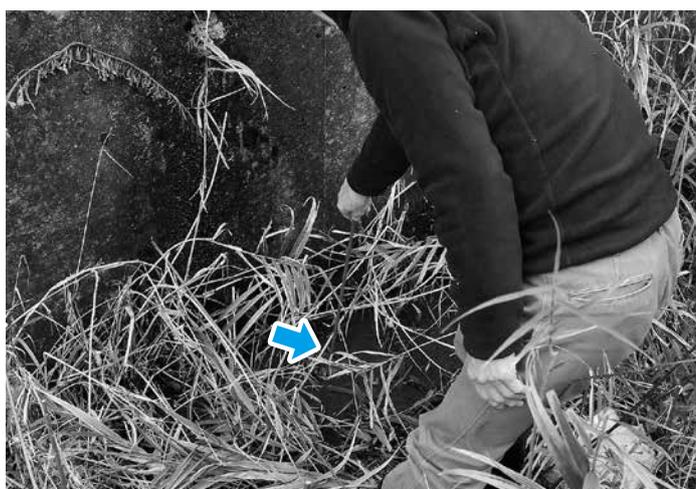
答 市が管理している歩道や道路の延長は741km、過酷な状況の中で市民のために懸命にやっている。今後も自治会、PTA、学校等にも協力をいただき、共通の困難に立ち向かっていく。



各種コンサート等が開催されるひぼこホール

問 要望は国に伝えるか

答 現場を見させていいただき、既に農地がな



旧農業用水路が未整備のためへど口が深く環境整備ができない

答 現場を見させていいただき、既に農地がな

市政を問う



井上 正治 議員
(とよおか市民クラブ)

市が目指すコメ農政

問 環境に配慮しつつ、安全安心なコウノトリ米の生産に取り組み、減農薬米から無農薬米の安定生産にたどり着き、大きな成果を上げてきた。今後は、安全安心とさらなる品質向上とブランド化、高付加価値化を目指した効率的効果的な栽培方法を確立し進めるべきだが

答 現在30年度予算に向け、KDDIの包括協定による、ICT化の導入について、3つの観点で検討中。①無農薬での水管理での活用②ICT機械導入(ドローン・密苗・直接の直播・冠水直播)③新規就農者がたやすく農業ができるような誘引施策である。

問 農家の栽培努力によりブランド米として定着しつつある。食味分析鑑定コンクールに参加し

位の栄冠を受けるまでになっている。

全国的に認知されつつあるコウノトリ米の栽培地豊岡で、食味分析鑑定コンクールの開催を

答 ぜひ実現したい。ただ、現時点ではまだ情報があまりないので、先進事例において、どのようなことが必要か、しっかりと踏まえた上で、前向きに考えている。

問 行政区単位で現状の年齢の一番若い人を見ると、14歳以下のいない区が14区ある。10年後、20年後を見据えると本当に大変な時代が訪れる。

答 女性をターゲットにして迎え入れる施策が必要だと考えている。

市が目指す農政、

中山間の人口減少対策

中山間の人口は激減

行政単位で現状の年齢の一番若い人を見ると、14歳以下のいない区が14区ある。10年後、20年後を見据えると本当に大変な時代が訪れる。

答 女性をターゲットにして迎え入れる施策が必要だと考えている。

問 これまでの経過の中で、公民館・小学校単位でどのような人口減少が起きているか積極的に示し、危機感を共有し今日の姿がある。

答 女性が役割を持ち活躍する場をどう作るかが重要。



コウノトリ米の田園風景



岡本 昭治 議員
(新風とよおか)

コウノトリ野生復帰への 取組みの分析と評価

の取組みに

おける市全

体の経済効

果はどれく

らいか

問 環境への取組みを

持続可能に

するために

策定された

豊岡市環境

経済認定事

業として、

現在68の事

業を認定し

ており、平

成28年の1月

から12月ま

での売上総額

は約69億円

となっている。

問 コウノトリ野生復帰

の取組みが国内

外に広が

りを見せる

なか、市の果

たす役割は

答 コウノトリも住める

まちづくりの

としてつき抜けていくことが大切だと思っている。

問 コウノトリの野生復帰の成果を公表し、市民に理解と協力を求めることが大切と考えるが

答 成果について正しく理解をしていただくことが必要であり、広くホームページや出前講座を活用しながら、普及啓発活動に努めていきたい。

問 米の生産目標数量配分の廃止および米の直接支払交付金の廃止に伴う市の対応は

答 ①集落営農、法人化の推進②畦畔除去などの農地整備の促進③農地中間管理機構による農地の集積・集約化の推進④収入保険制度の周知と加入促進⑤コウノトリ育むお米(ブランド米)の販売促進などで対応したい。



コウノトリ野生復帰の拠点

コウノトリの野生復帰

問 コウノトリ野生復帰の取組みの分析と評価が必要と考えるが

答 検証は極めて重要である。25年度に本市を事務局とした、コウノトリ野生復帰検証委員会により、分析と評価が公表されている。

問 コウノトリ野生復帰

市政を問う

一般質問



足田 仁司 議員
(ひかり)

豊岡の賃金・所得を 魅力ある水準にすべきだ

問 市内で働く人々の賃金・所得水準はどうなっているのか。また、ワーキングプアと呼ばれる人々の割合はどうか

答 市の一人当たり所得額は260万5千円で、県下41市町中37番目。ワーキングプアと呼ばれる人々の割合は把握していない。

市長としては行政手腕を発揮しなければならないと思っている。

豊岡市民の人権意識

問 障害者差別解消法・ヘイトスピーチ対策法・部落差別解消推進法は、市政にどう生かされるのか。また、昨年度、市が実施した人権意識調査は

答 いまだ出自による差別がある。研修等を通じて市職員のレベルアップに努めたい。意識調査の継続は非常に大事なところなので、宿題として預かる。

公共施設再編計画

問 公共施設の廃止基準および廃止手続きは

答 安全に施設利用できる間は使用し、使用不能と判断した段階で廃止する。持続可能な行政運営のため統廃合を進める。廃止は事前に周知し、廃止条例案を議会で議決していただくことになる。



井垣 文博 議員
(とよおか市民クラブ)

空き家対策はまちづくり の重要課題だ！

問 基本構想に基づく今後4年間の市政経営方針で、まちの姿をどのように描き、新年度予算をどう編成するのか

答 12年後の姿の実現に必要な仕込みの4年間で共に創り上げる。また、平田オリザさんと劇団本拠の豊岡移住・移転によるまちづくりへの影響を期待する。但馬技術大学校へのものづくり支援センター設置により、内発型の産業構造をつくることに期待できる。靴産業に革を縫う技術の導入、コウノトリの今後の取り組み検討、10年後の農業の柱をどうするかなど、新年度予算はメリハリのついたものにする。

問 小さな世界都市を目指すうえで空き家対策は重要である。どのような対策を講じていくのか。また、活動団体へさらなる支援が必要だがどうか

答 危険と思われる空き家についてアンケート調査を実施した。空き家等対策計画を策定し、空き家対策協議会で協議していく。また、景観という観点からの取組みや、IT企業の誘致も進める。活動団体への支援は、関係部署や関係団体が連携を取って取り組む。

問 合併して13年経過するが、周辺地域の住民は大きな差を意識しているように思うがどうか



働く人の力でまちづくり

答 それぞれの地域の個性を生かしながら、市全体を豊かにするために、

問 台風18号、21号の被害状況とその復旧対策はどうか



before



after

生まれ変わった空き家
地域活動交流拠点「なごみてえ」

市政を問う

区長連
合会から8
月28日に要
望書が出さ
れている。
区長の皆さ
んは、敬老
会は地域の
ための必要
な事業と考



高齢者の皆さんが楽しみにされている敬老会



青山 恵司 議員
(ひかり)

敬老会補助金は市民、 区長、議会の願いだ！

問 市長が補助金の廃止を宣告され、選挙期間を通じて、楽しみにしている敬老会が開催できないのではないかと聞いた心配の声をたくさん聞いた。敬老会を主催してきた区長会からの意見はどのようなものがあつたのか

答 春と秋の市政懇談会で廃止の方針と趣旨を説明した。最初は、継続を要望する声もあつたが、最近では、新規補助金の手続きの問い合わせがある。

問 市民の思い、区長の思い、議員の思いを受けて本当に必要なものを残す考えにならないか

答 要望に応えられるものもあれば、応えられないものもある。区長と意見を交わした上で、最終判断をしてきた。

問 今回も多くの議員が見直しを訴えている。市民から選ばれた議員として継続をしてほしい。市

問 区長会や高齢者の方はむしろ諦めた。対話と共感というのであれば、事前にもっと対象者の方や区長会、議会に対して対話をしていただきたい

答 一日だけ楽しかったという事業に2200万円も使われている。その状況をみれば市長として答えはすぐに出る。財政状況がさらに悪化する中で何をやるべきか考えた時、継続することはできない。これから悪化するであろう高齢者福祉に使う方が適切である。



上田 伴子 議員
(日本共産党・おおぞら豊岡市会議員団)

敬老会補助金継続を 対話と共感を大切に 市民の暮らし第一に！

問 補助金継続の要望が強い中で、補助金を廃止した財源を使つての高齢者施策の提案には驚いた。まだ、議会の承認も得ていないのに区長等に決定事項のように文書配布したことは、法律違反ではないのか

答 文書には議会の審議があり、日本国

問 対話し、共感できているのか

答 限られた財源をより合理的に使うための施策を提案して議論し、対話をしていく。

問 文科省からの通達による指導で30年度から入学前支給をすることになり、市としても来年度から3月支給をする。今までどおり、申請に基づき、民生委員さんや学校の助言もいただく。

問 入学準備金が3月支給になり、うれしいニュースだ。入学前支給はどの

問 入学準備品、他にもたくさんの物が…



入学準備品、他にもたくさんの物が…

道路冠水時の対応 を敏速、安全に

問 大雨や台風での道路冠水では、15cm以上になると通行止めの措置をとるとのことだが、県によるパトロールと市との連携はどうか

答 県土木により通行止めが必要な場合は、委託業者に連絡してバリケードを設置し、交通整理員が配置される。豊岡土木事務所にも職員1名を派遣し情報収集している。

市政を問う

一般質問



松井 正志 議員
(とよおか市民クラブ)

高齢者福祉施策の通知 予算議決前に出せるか

問 敬老会補助金と高齢者福祉施策に関する区長あて文書は、見出しに補助金廃止と施策の実施と書いてあり、区に対して予算化をお願いする趣旨の説明もあった。本来は予算を議決して、その予算を根拠にしないと出せない文書だと思いが

答 責任を負うものでない。実施についてという文書の中に、議会の審議が必要だとはっきり書いているので、問題ないと思う。

問 全国学力・学習状況調査分析結果をもとにした授業アイデアの活用は

答 毎年校内研修担当者を集めて、授業づくりの方向性について共通理解を図っている。各学校では授業アイデアをまとめた冊子を使った授業研究や、日々の授業改善の視点として活用している。

問 区が仮に予算化した場合に、別に市は公的に

答 授業アイデアをまとめた冊子を使った授業研究や、日々の授業改善の視点として活用している。各学校では授業アイデアをまとめた冊子を使った授業研究や、日々の授業改善の視点として活用している。

問 投票時間

答 急な線上決定になったことについて、市広報で簡潔な内容だがお詫びさせていただいた。

問 県道耀山日高線三方架替えの可能性あるか

答 県道耀山日高線三方橋の架替えおよび歩道橋設置について、長年住民から要望が出されている内容をどのように受け止めているか。通学をはじめとする歩行者の危険性についてどう認識しているか。歩道橋であれば事業着手の可能性が高いかなど、見通しが分かるか

問 人口減少、高齢社会

答 土地利用の郊外への拡大抑制、中心市街地の活性化、都市的な機能が近接することにより利便性を上げるコンパクトシティと、助け合いの力が弱まっていく中で、旧公民館の単位で大同団結をして、支え合い、助け合い、守っていく地域コミュニティとは理論的に別のこと。

問 活動の財源はどうか

答 基礎的な部分を支えるため、人件費と活動費を含めたコミュニティづくりが人口減少という中で、立ち上げには提案方式の活動促進事業交付金を交付している。今後持続可能な地域運営をしていくためにコミュニティビジネスや参加費、地区費などの負担、事業に応じた補助金制度を積極的に活用するなど自主財源確保が必要と考える。

問 学校現場と連携した図書館の教育機能充実

答 若年層の利用度向上が、今後の図書館利用者増や学力向上へと続くと思うがどうか

問 学校とは団体貸し出し、読み聞かせ授業、指導者の派遣、図書館見学の受け入れなどを行っている。家族のコミュニケーションの一つである家読を含め、学校と役割分担を図り、図書の貸し出しや図書情報の共有化など、連携を強めていきたい。



清水 寛 議員
(新風とよおか)

知って、使って、参加 できる居場所づくりへ

問 人口減少、高齢社会

らが人口減少という中で、コミュニティの力が弱まりつつあり、同時にそのコミュニティを強めるといふことをむしろ親和性が高い取組みだと思いが、市ではどのように考えているか

問 活動の財源はどうか

答 基礎的な部分を支えるため、人件費と活動費を含めたコミュニティづくりが人口減少という中で、立ち上げには提案方式の活動促進事業交付金を交付している。今後持続可能な地域運営をしていくためにコミュニティビジネスや参加費、地区費などの負担、事業に応じた補助金制度を積極的に活用するなど自主財源確保が必要と考える。

問 学校現場と連携した図書館の教育機能充実

答 若年層の利用度向上が、今後の図書館利用者増や学力向上へと続くと思うがどうか

問 学校とは団体貸し出し、読み聞かせ授業、指導者の派遣、図書館見学の受け入れなどを行っている。家族のコミュニケーションの一つである家読を含め、学校と役割分担を図り、図書の貸し出しや図書情報の共有化など、連携を強めていきたい。

問 学校とは団体貸し出し、読み聞かせ授業、指導者の派遣、図書館見学の受け入れなどを行っている。家族のコミュニケーションの一つである家読を含め、学校と役割分担を図り、図書の貸し出しや図書情報の共有化など、連携を強めていきたい。

問 学校とは団体貸し出し、読み聞かせ授業、指導者の派遣、図書館見学の受け入れなどを行っている。家族のコミュニケーションの一つである家読を含め、学校と役割分担を図り、図書の貸し出しや図書情報の共有化など、連携を強めていきたい。

問 学校とは団体貸し出し、読み聞かせ授業、指導者の派遣、図書館見学の受け入れなどを行っている。家族のコミュニケーションの一つである家読を含め、学校と役割分担を図り、図書の貸し出しや図書情報の共有化など、連携を強めていきたい。

問 学校とは団体貸し出し、読み聞かせ授業、指導者の派遣、図書館見学の受け入れなどを行っている。家族のコミュニケーションの一つである家読を含め、学校と役割分担を図り、図書の貸し出しや図書情報の共有化など、連携を強めていきたい。

問 学校とは団体貸し出し、読み聞かせ授業、指導者の派遣、図書館見学の受け入れなどを行っている。家族のコミュニケーションの一つである家読を含め、学校と役割分担を図り、図書の貸し出しや図書情報の共有化など、連携を強めていきたい。



敬老会は地域の交流やきずなを深める場のひとつ

問 投票時間

答 急な線上決定になったことについて、市広報で簡潔な内容だがお詫びさせていただいた。

問 活動の財源はどうか

答 基礎的な部分を支えるため、人件費と活動費を含めたコミュニティづくりが人口減少という中で、立ち上げには提案方式の活動促進事業交付金を交付している。今後持続可能な地域運営をしていくためにコミュニティビジネスや参加費、地区費などの負担、事業に応じた補助金制度を積極的に活用するなど自主財源確保が必要と考える。

市政を問う



浅田 徹 議員
(新風とよおか)

台風による水害対策と 部活動の今後の方向は



応急処置され復旧工事が待たれる円山川堤防のり面亀裂区間

問 赤石の円山川堤防亀裂の原因究明と復旧および今後の対策はどうか。航空レーザー測量データを水防に生かせないか

答 国交省が年内に調査し原因究明の後、30年度の増水期までに復旧を終えるよう工法の検討を進

問 日高・城崎地域における無堤防区間の築堤で新たな内水問題が予測されるが、対策の検討が必要ではないか。また、梶原・庄境区は内水対策として、浸水防止擁壁や排水ポンプが設置されたにもかかわらず、市道や宅地に浸水被害が発生したが、原因と今後の対策は

答 新たな内水・浸水対策は状況を見ながら国・県・市で対応を検討する。また、梶原・庄境区の浸水被害は、農業用ゲートが閉まっておらず、排水用ゲートにも流木が挟まり川水の逆流が原因と思われる。今後、台風前には地元関係者と連携を取りながら点検パトロールを強化していきたい。

めている。対策は、堤防の詳細点検を増水期前後に行い、平常時の河川巡視と概ね2年ごとに航空レーザー測量を行い堤防の状態を把握する。測量データの活用は、水防活動に必要な情報提供をお願いしている。

問 学校の部活調査で先生方が校務と部活の両立に限界を感じるなどの課題が出ている。市の状況と今後の考え方はどうか

答 部活は教育課程外の活動だが、学校教育としての意義や役割は大きい。教員や生徒の過度の負担にならないように顧問の複数体制や参加大会の精選および専門的指導者や体育協会などの連携も視野に入れて検討したい。

学校業務と部活の両立



上田 倫久 議員
(新風とよおか)

クリーンパーク北但の 運営事業の成果など



豊岡市、香美町、新温泉町が共同で運営する「クリーンパーク北但」

問 クリーンパーク北但の運営事業の成果は

答 28年度に受け入れたごみの総量は、3万9107トンで、そのうち74%の2万8997トンが豊岡市分のごみの量である。平成28年12月20日に炉停止をした事案があったが、毎月行う排ガス測定も異常はなく、安全、適切に処理されている。

問 地元雇用は、クリーンパーク北但の施設運営事業者である北但ハイトラスト株式会社について約60人の従業員がいる。管理部門、クリーンセンター、リサイクルセンターで構

成されている。積極的な地元雇用であり地域の雇用創出につながっている。28年度の売電収入は、1億1340万9779円である。発電された電気は、市の公共施設で使われ、地産地消に貢献している。

問 28年度の缶、瓶、アルミ、紙製容器包装等のリサイクルしたものに對する売却収入は、219万5286円と高値で推移している。有価物はリサイクルセンターで選別、回収されたもので、再資源化率の向上は循環型社会の形成にも寄与している。

戸牧川の浚渫

問 浚渫作業はどうか

答 以前から地元地区および五荘地区区長会から要望があり市から県へ要望をつなぎ、24年度に実施している。県としては浚渫工事を行う目安として河川断面の3分の1を超える堆積があれば、浚渫を行っている。

現在は、防災上の問題はなく、浚渫工事の予定はないが、引き続き現場の状況を見て県へ対応を検討していただくよう働きかける。

問 以前から地元地区および五荘地区区長会から要望があり市から県へ要望をつなぎ、24年度に実施している。県としては浚渫工事を行う目安として河川断面の3分の1を超える堆積があれば、浚渫を行っている。

市政を問う

一般質問



橋野 仁司 議員
(とよおか市民クラブ)

台風災害への対策は十分であったか

問 台風18・21号の市内各所での被害状況は。想定外や例のない被害は。対策対応で反省すべきことやこれからの課題は

答 豊岡地域（港地区を除く）で、床下11、土間上17、建物の一部損壊半壊があった。全体を通じて短時間の大雨で道路・河川に土砂の流出が多く発生し、円山川本川を含め台風23号を上回る水位になった。近海の海水温の上昇は台風を大型化し、進路が本市と離れていても長時間風雨の影響を受ける。気づいてからでは遅い、空振り覚悟で早め早めの対応が必要。

城崎地域・港地区、18号で住家非住家223棟（気比145棟、飯谷45棟）市全体の67・4%、21号で28棟、23・5%。河川の

災害はいつでもやって来る そなえよ常に！



台風18号による土砂堆積のあった飯谷川（城崎）

土砂堆積、裏山からの鉄砲水により旅館や外湯への土砂流入の被害や大潮で水位の上昇、長時間の幹線道路冠水があった。

竹野地域、床下2、土間上浸水4。金原の路肩崩壊、森本では井堰、護岸崩落があった。

日高地域、18・21号合

わせ床上3、床下10、土間上浸水80。八代排水機場ポンプをフル稼働したが水位が下がらなかつた。

問 円山川河川整備計画の進捗状況は

答 奈佐小橋から結和橋まで来年度出水期までには開口部を閉鎖。内水対策は本川整備の水位低減が図られる状況を見て対応を検討していく。



石津 一美 議員
(豊岡維新の会)

子宮頸がん検診や エピペン取扱いの現状

問 本市でも子宮頸がん検診とHPV検査を併用実施するべきでは

いについて

答 エピペンの管理、使用については、市教育委員会との学校におけるアレルギー疾患対応マニュアルに基づき職員会議や研修を行い、教職員全員が共通理解を図り、緊急時の対応に備えている。その対応に備えている。そして、幼児、児童生徒が安心して学校園での生活が送れるように努めている。また、マニュアルだけではなかなか分かりにくい、研修しても覚えていないというケースもあり、有の徹底に努めている。小中学校でも、入学説明会で保護者からの情報提供や就学時健康診断等で対応が必要な児童生徒を把握し、給食センターとの連携を図り、校内研修を実施して事故防止に努めている。

問 国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき、検診を実施している。現在のところ、HPVの併用検査が推奨で入っておらず、市としては実施していない。平成25年以降、有効性に関する研究が行われており、追跡調査を行う予定。その結果を踏まえて検討する。

問 幼児保育・教育現場におけるエピペンの取扱

答 公立保育園・こども園ではアレルギー誘因食品が混同、混入しないよう最大限配慮しながら給食調理を行っている。誤食・誤飲した場合は、アレルギー疾患対応マニュアルに基づき対応できる。また、園内研修や情報共有の徹底に努めている。



ハチ、食物アレルギーの補助治療剤

明会で保護者からの情報提供や就学時健康診断等で対応が必要な児童生徒を把握し、給食センターとの連携を図り、校内研修を実施して事故防止に努めている。

※「HPV」とは「子宮頸がん」の原因とされるウイルスのこと

市政を問う



竹中 理 議員
(豊岡市議会公明党)

市民の方からの要望を 質問しました



図書館利用を活発にしよう

問 豊岡で暮らすには自動車は必須である。若者応援事業で自動車教習所に係る助成を行ってはどうか

答 今後事業者から新たな支援策等ご協力いただける申し出があれば、随時協議し追加したい。

問 図書館活用促進で「読書手帳」を作り、図書館の利用者を増やして

問 と共に調整を図り、来年度に測量に向かう予定。市のごみ袋について結びやすいように切り込みを入れてほしい

答 考えていない。主な理由は特殊な加工機械の購入、維持費など経費の増高。外部業者に委託すると納期が遅れるリスク。

問 敬老会補助金廃止に伴う高齢者福祉施策で、

はどうか

答 図書館の次回システム更新時に改めて検討したい。

問 梶原区の内水問題について進捗状況は

答 地権者の相続人を確認し事業協力をいただいた。今後は地元区

問 市民の多くからの「使い勝手が悪い」「老人クラブの負担が多い」「地域コミュニティに交付し自由度をつける方がよい」との意見にどう答えるか

答 事務手続きを極力簡素化し、負担のないよう努めたい。地域コミュニティは本年度始まったばかりで一律に事業の展開は難しい。ただ今回の事業の引き受け手としての活動を期待している。

地域包括ケアシステム

問 豊岡の拠点として日高地域がモデル地域だが、今後市民の方々がさまざまな生活援助サービスを知りたいときに何か良いツールはできたか

答 日高地域作業部会では、生活支援サービスに加え、医療機関、集いの場所等をまとめた「地域資源整理表」ができた。

2月

9時30分開会

月	火	水	木	金	土	日
19 議会運営委員会	20	21	22	23 定例会初日	24	25
26	27 質問通告〆切 (正午)	28				

3月

			1	2	3	4
5 代表質問	6 一般質問	7 一般質問 議会運営委員会①	8 一般質問 予算決算委員会①	9	10	11
12	13 常任委員会②	14 常任委員会②	15	16	17	18
19	20 予算決算委員会 特別委員会③	21 春分の日	22	23	24	25
26 議会運営 委員会④	27 定例会 最終日	28	29	30	31	

- ① 一般質問が終了した後に開催。
- ② 総務、文教民生、建設経済の3常任委員会と各分科会を開催。
- ③ 議会広報広聴、人口減少対策等調査、防災対策調査の3特別委員会は、予算決算委員会閉会後に開催。
- ④ 午後3時から開催。
- ※ 定例会は市役所の議場で開催します。ぜひ傍聴へお越しください。
- ※ 一時保育（無料）もありますので、希望者は、1週間前までにお申し込みください。

3月定例会のお知らせ

2/23
〜
3/27
開催

意見書・請願・陳情

陳情

陳情第4号 福祉職場の職員の大幅増員と賃金の改善の実現にむけて、国に対して意見書の提出を求める陳情書

〔本会議での審議結果〕 不採択

提出者 全国福祉保育労働組合兵庫地方本部気付

兵庫福祉4団体 代表 柳田 洋

〔陳情の要旨〕

国庫負担を抜本的に増やし、国の責任で職員の大幅な増員と賃金の引き上げが実現できるよう、議会として国に対して意見書を提出していただくよう、以下のとおり陳情する。

- ① 福祉職場の職員配置基準を抜本的に改善し、完全週休2日制の実施や法律で定められた休憩・休暇の取得ができるように、職員を大幅に増やされたい。
- ② 実質賃金の改善につながる予算組みをはかり、全産業平均との月額10万円の賃金格差を解消されたい。
- ③ 保育園の退職手当共済制度への公費助成を廃止せず、維持・拡充されたい。あわせて、すべての福祉で働く職員の退職手当共済制度の整備を行われたい。

〔文教民生委員長報告の要旨〕

委員会において、陳情の内容について慎重に審査する中で、一部委員より不採択の立場から、「介護士、保育士の給料については、年々増加傾向にあり、ま

た、介護士においては、国の「人づくり革命」により大幅な改善が図られることが決定した。国は、既に改善策を示しており、趣旨は概ね達成されたものと思慮する。よって、本陳情は不採択とすべきである。」との意見が出された。

一方、採択の立場から、「本陳情にあるように、福祉職場の職員の平均賃金は他の職種より低く、また、慢性的な人手不足により、有給休暇取得が困難な状況にあり、こうした労働条件により、有資格者が職に就かず、あるいは定着しない悪循環が続いている。政府は、2017年から追加の処遇改善を打ち出したが、陳情にあるような改善には至っていない。よって、本陳情は、採択すべきである。」との意見が出された。

このため、採決を行った結果、賛成少数により不採択とすべきものと決定した。

〔本会議での採決〕

本会議で、委員長報告に対し、会派「日本共産党・おおぞら豊岡市会議員団」議員より反対討論が、会派「とよおか市民クラブ」議員より賛成討論が行われた。起立採決の結果、反対少数により委員長報告のとおり不採択となった。

陳情第5号 ひぼこホール存続検討に関する陳情書

〔文教民生委員会審査結果〕 継続審査

提出者 ひぼこホールを愛する会

代表 坪井 豊志ほか3名

〔陳情の要旨〕

出石文化会館（ひぼこホール）は、全国公共文

施設協会に加盟しており、改修支援制度を活用することで、あらたな費用を負担せずともサービスが受けられる。自治体から要請があれば受けたいという返事がある。公共施設の管理運営を支援する組織体なので、豊岡市としても安心して相談できる相手であり、市民としても納得できる公平な判断を仰ぐことができると考える。

文化振興と施設利用促進に向けた課題を市民と共有し、今後の双方の取組みに活かすことが重要だと考える。市民としては、館内・庭園・駐車場等の清掃、事業運営を支援するホールスタッフの活動強化、友の会の増強支援など、いろいろな面で協力体制が強化できればと考えている。

- ① 改修検討にあたり（公益社団法人）全国公共文化施設協会の支援を求め、劇場改修と運営管理、市民協力あり方等の事情を通じた専門家の協力を得るようお願いする。
- ② 2018年度新規予約受付の早期再開をお願いする。
- ③ 市民協力強化を含む今後の対話会の推進をお願いする。



各委員会の抱負と課題(常任委員会)

総務委員会

当局と市議会が 議論しながら まちづくり推進

委員長 松井 正志

木造密集街区では、すべての現地調査を終え、火災実態に応じた消防活動能力の向上に努めています。

当委員会は、このような市の抱えるさまざまな政策課題などについて、また、年間を通してその所管分野の事務事業の執行状況などを調査するとともに、議会へ提案された条例や予算、決算などを分

市では、基本構想ならびに戦略的な進め方を示す市政経営方針を策定しました。3年目を迎えた地方創生（人口減少対策）の取組みでは、具体的な施策の展開とともに専門家との連携による検証や分析、政策提言や情報共有を進めています。

また、公共施設マネジメントでは、施設の長寿命化を図るため自主点検を徹底するほか、公共施設整備基金を設置し、積み立てをはじめ

さらには、



救急救命シミュレーションを視察

文教民生委員会

福祉・医療・教育・地域 コミュニティの推進

委員長 浅田 徹

当委員会は、市民の生活や健康と福祉、ならびに学校や地域の教育力や活力を育むといった日々の暮らしに直結し、乳幼児から高齢者に至る幅の広い年齢層にかかる多くの施策や課題を所管しています。

今年度は、福祉等の充実をはじめ、医療の確保、環境衛生、交通安全・防犯対策、教育、幼保一元化、文化財保護と伝統文化の継承、地域コミュニティ、生涯学習の推進についての諸課題を重点調査事項に掲げ委員会活動を行っています。

12月定例会では、「敬

老会補助金廃止に伴う代替事業予算案」や「ひぼこホール存続検討に関する陳情書」の審査を行いました。いずれの案件も丁寧な調査・審査を継続し、市民の声を聴いた上で市政の遂行上、より良い方向での結論を出したいと考えています。

また、12月に豊岡市基本構想を戦略的に進めるため、今後4年間の具体的手段を定めた市政経営方針が策定されました。その取組みおよび事業化については、市民に寄り添った確かなものになるようしっかりと審査を行います。



子育て施策について議論を交わす

建設経済委員会

「豊岡で暮らしたい」と言われる まちづくりのために

委員長 奥村 忠俊

豊岡市の人口が2040年には5・8万人と予想されている中で、現状と将来目標を行政と議会とが共通認識し、それぞれの立場から市民を支えていく取組みが重要です。特に若者の定着化は、それを可能にする思い切った施策が必要です。事業所の強化、労働条件の向上、起業支援、生活環境の向上など次代を担う若者が「この町で仕事をしたい。生きていきたい。」と思える総合的な施策の展開が求められます。

当委員会は、本市における建設・経済という幅の広い分野全般に

ついて協議することになります。常に市民目線からの施策提言をすることが肝要であると認識しており「市民が大切にされ、暮らしやすさを本当に実感しているか」「自信を持って故郷で暮らすことを子どもたちに伝えていくか」など、最も基本的な物差しで行政をチェックし、同時に政策提案していく考えです。そのために委員会としては、行政と一体となって全国的な先進例も研究しながら全力で取り組んでいきます。

農業スクール研修生による耕うん作業



農業スクール研修生による耕うん作業

各委員会の抱負と課題(特別委員会)

皆さんの声を 反映した市民参加型 を目指して

委員長 上田 倫久

定例会ごとに、議場

での質問や委員会活動の要旨をまとめた『議会だより』を作成し、各家庭等にお届けしています。議会と市民の皆さんをつなぐ広報紙となるよう、できるだけわかりやすく丁寧な編集に努めています。

このたび『議会だより第62号』が、「近畿市町村広報紙コンクール」で優良賞をいただきました。これからも多くの皆さんに読んでもらえる紙面づくりに取り組んでいきます。

本年度は、「広報」と同時に、皆さんの声を反映した市民参加型の「広聴」の役割が当



“議会だより” ただ今編集作業の真っ最中!

委員会に付されました。これまで、議会報告会などの方法により、議会活動の一部をお知らせするとともに、皆さんからご意見をお聞きしてきましたが、今後はアンケートなども検討したいと考えています。

皆さんからのご意見やご要望、市政へのご提言などをお聴きし、議会と市民が相互にコミュニケーションをとりあい、対話を通して、市民の声を市政へ反映させる委員会を目指します。

人口減少対策は 本市政最大の課題

委員長 井垣 文博

本市では、今後予想

される人口減少のスピードを極力和らげるとともに、その対策を通じて、地域活力を維持できるよう、「豊岡市地方創生総合戦略」が策定され、その取組みが進められています。戦略がスタートして

3年目を迎え、その成果が求められています。市議会においても、当局と議論を重ねながら、その取組みを検証し、より成果の上がるものにしていくため、「人口減少対策等調査特別委員会」を新たに設置しました。



すこやかな成長を願って

当委員会の役割は、移住・定住促進、結婚・多子出産促進、子育て支援、産業振興などの人口減少、地域活性化対策に関する調査研究等に取り組むことです。豊岡で暮らすことの価値と魅力を若者や子どもたちに伝え、移住・定住を促すとともに、多くのこどもで賑やかな家庭を持つ若者が増えていく豊岡市にするため、当委員会ですっきりと議論していきます。

普段の備えで 命を守る

委員長 西田 真

当委員会は、市の災

害対策全般に関し、総合的かつ計画的な防災・減災対策等に関する調査を行います。昨年も、地震・台風・集中豪雨等により全国各地で大きな被害が発生しています。本市におきましても、

昨年のおきましても、昨年のおきましても、で、住宅浸水、護岸崩壊、井堰下部洗堀、山腹崩壊による土砂流出、道路冠水等、多くの被害が発生しました。平成16年10月の台風23号では、堤防決壊等により尊い人命が失



国交省職員から堤防亀裂の状況の説明を受ける(赤石)

われ、市内各地で甚大な被害を受けました。幸いなことに、台風23号以来大きな自然災害は発生していませんが、明日にでもやってくる災害に備え、定期的に避難訓練等を行い万全を期す必要があります。毎年8月最終日曜日に実施する市民総参加訓練・震災総合防災訓練に参加することにより、防災・減災に対する意識を高めていただくことも大切だと考えています。災害に強い豊岡市を目指し活動します。

委員会の抱負と課題

議会の円滑な運営と力の結集を目指して

委員長 福田 嗣久

議会運営委員会は、議会の円滑な運営を図るため、会派の代表や常任委員長で構成されています。定例会に提出される議案等について事前に当局から説明を受け、会期や日程の調整、請願・陳情の受け、意見書案の調整、質疑・質問の整理などを行っています。

また、議会改革についても協議を重ねており、意見のまとまった項目から新しい形を取り入れています。

市民の皆さまが傍聴しやすいように議員の発言時間も一定の枠を設け、傍聴の目安となる時間も掲示しました。



議会の円滑な運営のために

予算決算委員会も新たに設置。予算決算の集中審査が行えるように改革。議員間協議も活発化させ、議会の活性化を図っています。

当局と議会という市政推進の一方の力として、議会運営委員会の役割がより求められていると感じています。

より積極的な議会のあり方を考え、改革を進めています。

各委員会 視察報告

文教民生委員会

平成30年1月24日

不登校児童対策等 について調査

豊岡市子ども支援センター

「不登校相談」「発達にかかわる相談」「子育て家庭相談」の3つの機能をつなぐ支援対策等について説明を受けた。

親も子もエネルギーを蓄え、みんなが笑顔になれる場所として重要な役割を担っている。



不登校児童対策等の説明を受ける

総務委員会

平成30年1月24日

木造密集街区における 消火活動計画等を調査

公設市場(中央町)付近・消防本部

平成27年1月の城崎大火や、平成28年12月の糸魚川大火などを踏まえ、本市の木造密集街区における火災消防活動計画について、現地確認を行うとともに、消防本部において現状や課題の調査を行った。



木造家屋密集街区における消火活動計画を確認

防災対策調査特別委員会

平成29年12月21日

台風災害による 現地視察

豊岡、城崎、竹野

平成29年に発生した台風18号、21号により大きな被害を受けた箇所について現地視察を実施した。

河川の土砂堆積や堤防の被害状況について関係職員から説明を受け、課題と対策について調査を行った。



市場井堰の状況について説明を受ける
(竹野町森本)

9月定例会の委員会審査における 委員会意見と当局回答

市税の収納率の向上

28年度の市税収納率は、合併以来最高値とのことだが、監査委員による決算審査意見書では、県内市町の収納状況において、本市は、下位であることが指摘されている。財政状況が厳しい中、今後とも「滞納対策アクションプラン」に基づき、さらなる収納率向上による自主財源の確保に努められたい。
(予算決算委員会)

 今後とも滞納処分強化を行い、収入確保を図るとともに、30年度実施される個人住民税特別徴収の一斉指定の周知徹底を図り、納付環境の整備を進め、収納率の向上に努める。(税務課)

29年度から「滞納対策アクションプラン」等の債権管理に関する事務を豊岡市債権管理委員会が引き継ぎ、処理見込額（徴収目標）に係る年度中途での進捗状況の確認を行っており、さらなる収納率向上に努める。
(財政課)

※コワーキング豊岡の成果

コワーキング豊岡は、約9,000万円の事業費で平成29年4月にオープンし、半年が経過したが、個人会員目標30人に対し8人、法人は1社に留まっている。市内外にPRするなど目標達成に一層の努力を求めたい。
(予算決算委員会)

 但馬地域地場産業振興センターや豊岡観光イノベーションと協働し、起業希望者や市内への出張者などに情報が届くよう、宿泊施設などへのチラシの配布やSNSを活用し、会員数の確保、施設の利用促進に努めたい。
(エコバレー推進課)

市有物件の適切な管理による再発防止

市営駐車場の管理に起因する物損事故であるが、市が管理すべき物件については、常日頃から状況把握を行い、必要に応じて補修等、適切な維持・管理に努め、再発防止に最善を期されたい。
(総務委員会)

 より一層注意を払い、必要な箇所については迅速に補修、処置をする等、再発防止に努めたい。
(総務課)

公立豊岡病院組合への関わり

市は、危機的な経営状況にある公立豊岡病院組合の構成市としての自覚が必要である。組合だけに任せることなく、豊岡・但馬の医療を守るために、医師確保などにおいて、できる限りの支援をし、積極的にかかわっていただきたい。
(予算決算委員会)

 病院経営については、組合自体が努力をする必要がある。一方で、高度の医療を担う急性期病院として、また但馬圏域を支える中核病院としての役割は大きく、構成市として最大限の支援をしていくべきと考える。今後も医師確保をはじめ、地域医療の向上に向けたさまざまな医療施策を組合と共に展開したい。
(健康増進課)

生活道路排水路整備事業の推進

生活道路排水路整備事業については、2,000万円の予算で、各区の要望に基づき改善、改修を行う事業である。要望は多くあるが不用額が予算の20%相当の400万円を超えており、市民に不誠実な行政対応と言わざるを得ない。年度早くに区長等への要望聴取など、予算に見合った事業推進を求めたい。
(予算決算委員会)

 不用額については、用地境界や施工進入路等地元との調整に不測の日数を要し、大雪と重なったため、未執行となったものである。今後は、早い段階で要望内容を精査し地元との協議を密に行い、業務の進捗を図りたい。
(建設課)

道路の安全対策の検討

道路管理上必要な防護柵のチェーンが外れ、児童が約2メートル下の大溪川へ転落する事故が発生した。安全点検を定期的に行うことは、当然のことであり、右岸側についても左岸側同様に安全性向上の検討を求めたい。
(建設経済委員会)

 事故を受け、防護柵の点検を行い補修は完了した。今後は、設置の経緯や景観への配慮について調査し、安全性向上を図るための検討を行う。
(建設課)

※「コワーキング」とは 一般的なオフィスの環境とは異なり、開放的な空間を共有し、コミュニケーションを図ることで、お互いにアイデアを共有するワークスペースのこと



その後どうなった?!

常任委員会や特別委員会は、議案などを審査し、その可否を決定します。その審査の過程で、市当局に対して意見や要望を付すことができます。

それに対して、市当局は指摘の内容が妥当であるか、要望が実現できるかなどを検討し、次の定例会の際、報告することになっています。

これは、議会でまとめた意見が、単に一方的なもので終わってしまわないよう、市当局と議会が議論のキャッチボールをしながら市政運営を行っている取組みの一端です。

市民の意向に留意した高齢者対策

豊岡市老人福祉計画・第7期介護保険事業計画と日高地域における包括ケアシステムとは密接に関連するものと思われる。計画策定やシステム構築にあたっては、サービスを受ける市民の意向を十分に把握するよう留意されたい。

(文教民生委員会)

 地域包括ケアシステムの構築にあたり、計画策定検討委員会の作業部会で、日高地域をモデル地域として検討を行った。作業部会には、日高地域の医療・介護関係者のほか、老人クラブや地区住民の代表等の参画も得て戦略体系図を作成した。戦略体系図は、計画にも位置付ける予定であり、今後、計画の評価・見直しにあたっても、区長会等の関係団体と調整しながら、具体的な事業に取り組む。

(高年介護課)

有害獣による農業被害への対策

特にシカの被害は一向に減少していない。毎年の捕獲頭数は目標に近い成果をあげているが、地域的な差がある。農業の被害防止や農地保全の上からも、有害獣の増加阻止は農政の大きな課題である。さらにサル集団による被害も多く、被害防止対策の効果ある検討を求める。

(予算決算委員会)

 29年度の鳥獣害に係る農業共済金申請面積が対前年度比約32%減少するなど、市の農業被害は減少傾向に転じているが、一方でシカの生息状況の変化等により被害が増大した地域もある。シカ捕獲専任班による捕獲活動など、有害鳥獣捕獲班と十分に連携し、特に被害が減少していない地域には捕獲圧を強めるなど、状況に応じた捕獲体制を構築し捕獲対策を実施する。また、集落防護柵の設置など、被害地域の防除体制の向上に努める。

サル対策については、鳥獣害対策員による銃猟の実施など、これまでにない捕獲対策、防除対策を検討し、地域と力を合わせて対策を進めたい。

(農林水産課)

総合健康ゾーン診療所の見直し検討

診療所特別会計の中で、特に総合健康ゾーン診療所については、利用人員の伸び悩みなどの課題を抱えている。

市民の健康増進施策を進めるうえで、ウェルストーク事業と対をなす診療所であるが、この際、設置の意義や期待する効果など、意欲ある見直し検討を求めたい。

(文教民生委員会)

 運動療法で医・学・官・民の連携を目指す先進的な取組みとして一定の成果をあげてきたが、指摘のとおり、最も公益にかなうあり方について、現在検討を進めている。(健康増進課)

地方創生事業の成果

地方創生に関する産産業プロモーション事業等が展開されているが、事業ごとの目指す成果・目標に対し、達成状況を明確にし、検証と共に事業目的の達成に一層の努力を求める。

(予算決算委員会)

 地方創生総合戦略では、主要手段、具体的手段レベルで指標を掲げて取り組んでいる。今後の事業推進においても、成果を考慮しつつ、より効果的な作戦となるよう見直しを行い、最大の目的である人口減少の緩和実現に向けて取り組みたい。

(地方創生課)

市立東霊苑の利用拡大

平成23年10月に開園した市立東霊苑は、現在、需要が伸び悩んでいる状況にあるが、さらなる魅力のPRや周知を図り、利用拡大に努められたい。

(文教民生委員会)

 平成29年9月に3日間の現地案内会を開催した。広報紙には8、9月号に記事を掲載し、1月号にも掲載する予定である。今後も引き続き、東霊苑の魅力のPR及び周知を図りたい。

(生活環境課)

全国から 豊岡に!!

議会トピックス

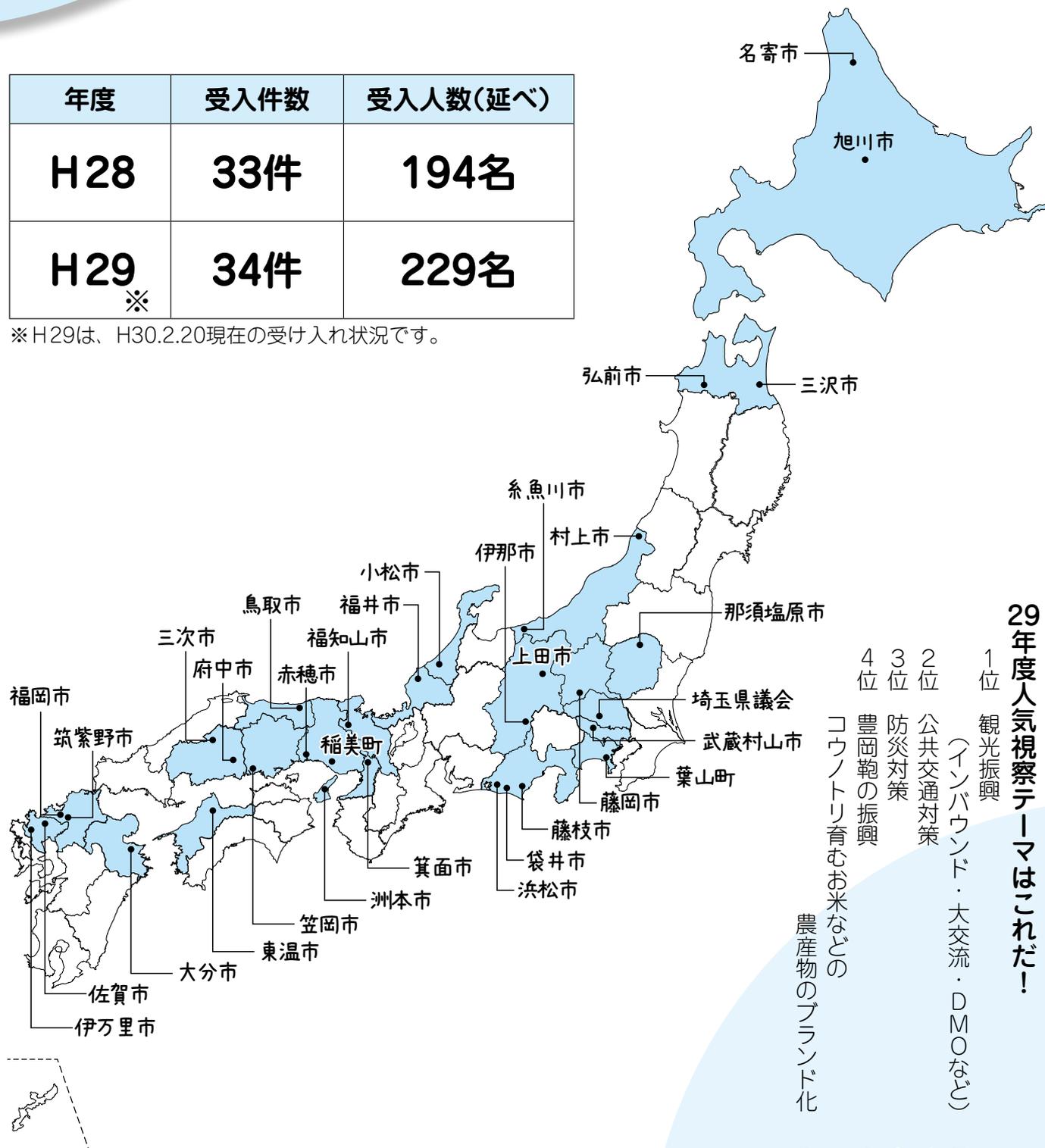
—豊岡の取組みキーポイント!—

本市の事業について、全国の議会から視察を受け入れています。

29年度の受け入れ自治体を図示しています。

年度	受入件数	受入人数(延べ)
H28	33件	194名
H29 ※	34件	229名

※H29は、H30.2.20現在の受け入れ状況です。



スマイル まちのSmile ☺ & Genki げんき



▲平成30年豊岡消防団出初式

平成30年豊岡消防団の出初式が全14分団から総勢393人の団員が参加して開催され、市営中央駐車場で行進や一斉放水などが行われました。(1月7日)

▼アートチャイルドケア豊岡こうのとり保育園もちつき大会



アートチャイルドケア豊岡こうのとり保育園で新年恒例の「もちつき大会」が園児や近隣住民の参加のもとで行われました。園児が「よいしょ！よいしょ！」と元気よく杵で餅をつき、みんなで餅を丸めていました。(1月10日)

日高町水上区みのかみのどんど焼き▶

日高町水上区の八坂神社において小正月の恒例行事「どんど焼き」が行われました。地区の家々から集められた正月のしめ縄や松飾り、書初めなどを燃やし、1年間の無病息災などを願いました。(1月14日)



平成29年度 豊岡市成人式

～華やかに、晴れやかに～



平成30年1月7日、平成29年度豊岡市成人式が市民会館で開催されました。
 新成人対象者871名のうち732名が晴れやかな振り袖や袴、スーツ姿で参加しました。
 新成人の代表が「生まれ育った豊岡をさらに魅力あふれるまちにしていく」と新たな決意を誓いました。



誓い



再会



歓喜

議会広報広聴特別委員会

委員長	上田倫久
副委員長	村岡峰彦
委員	足田竹彦
委員	石田仁一
委員	井上正治
委員	清水正寛
委員	松井志

編集後記

▼議会のすべてが分かると言われる議会広報を担わせていただくことになりました。見るもの聞くものすべてが勉強ですが、市民の皆さまにしっかりと豊岡市議会の一年間の活動をお伝えしていきます。

▼また、委員会名のとおり、議会ならではの広聴も取り組んでいきます。是非皆さまの忌憚なきご意見をお聞かせください。一年間おつきあいの程、よろしくお願ひします。（しみずひろし）

▼新しい議会、新しい年の議会だよりです。今年も市民の皆さまに「読んでもらえる」議会だよりにより委員一同心掛けていきます。

▼昨年6月議会を報告した議会だより第62号が毎日新聞社・毎日文化センター主催の第30回近畿市町村広報紙コンクールで優良賞をいただきました（前号で紹介）。

▼荣誉ある受賞に喜びと同時に、プレッシャーを感じながら、またこの教えを学び編集した議会だよりをお届けします。（むらおかみねお）